

水辺の高貴な姿 —サワギキョウ—

沢水が集まった池や湿地にすらりと伸びた茎に、爽やかな青紫色の花が下から順に穂のように咲いています。「サワギキョウ」です。漢字で書くと“沢桔梗”。キキョウ科ミゾカクシ属の多年草です。花の色がキキョウに似ていて、沢に咲くからこの名前が付いたのでしょう。しかし、花の形は深い切れ込みがある独特の形で、キキョウとは全く異なります。花期は8月から9月頃まで、青紫色の深く5つに切れ込んだ唇形の花を茎の上部に総状に咲かせます。花びらは上下に分かれ、上唇は鳥の翼のように2つに、下唇は3つに切れ込んでいます。

サワギキョウの花言葉は“高貴”です。すらりと伸びた茎に気品のある紫色の花を咲かせる様子が高貴な姿を連想させるためといわれます。また、“悪意”という花言葉もあります。これは風情のある美しい花なのに、この植物に有毒成分が含まれていることに由来するといわれます。

水辺に咲くサワギキョウは美しく高貴な容姿ですが、取り扱いには注意が必要です。



水辺のサワギキョウ



サワギキョウの花



森の日記／6月17日(土)
蜂蜜いっぱいとなりました
梅雨の晴れ間に「ミツバチ教室」を開催しました。岐阜県養蜂組合の赤塚さんによる、ミツバチの生態や蜂蜜についての説明の後、4月から設置してあった養蜂場の巣箱とミツバチが飛び交う様子を観察しました。
観察後には、蜂蜜がたっぷりつまった蜜棚を巣箱から取り出し、遠心分離器に入れて参加者が代わる代わるハンドルを回し、甘くておいしそうな蜂蜜をいっぱい収穫しました。

教室のご案内

バードウォッチング (要申込/定員10人/雨天中止)

8月

8月27日(日) 午前9時～11時
夏の野鳥を観察します。

9月

9月24日(日) 午前9時～11時
初秋の野鳥を観察します。

陶史の森ネイチャーセンター横、林泉の池堤防に集合してください。

9月

草木染め教室

(要申込/定員10人)

9月10日(日) 午前9時～11時30分
草や木を煮出して白い布を染めます。

陶史の森まつり

9月16日(土) 午前9時～正午

※雨天順延 9月17日(日)

※シャトルバス(陶史の森—セラテクノ土岐)をご利用ください。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。